

記録	<p>《現状のデジタルサービスに対する意見》</p> <ul style="list-style-type: none">・デジタルサービスを利用する際に、入力する情報が多く覚えきれない。今回の意見交換会の申込フォームのように名前だけの入力で済むなど簡単になると使いやすい。・市施設の利用申込のデジタル化はスマホで申込や確認ができるので便利。従来の先着順は大変。・自治会の情報はLINEグループで共有している。回覧板は時間が掛かるがLINEは同時。(※自治会の取組)・マイナンバーによる住民票の取得などは大変便利。・確定申告が大変やりづらくなった。申し込みに2時間かかった。 <p>《今後デジタル化を推進する上での課題》</p> <ul style="list-style-type: none">・デジタル技術を使いこなせない年配者への対応。・スマホの所有有無による格差への対応。・デジタル化の目的は手間や経費を減らすことだと思う。推進は不可逆的ではないか。 <p>→年配者の対応などかえって手間がかかる場合もあり、水道の集金人など仕事を奪うケースもある。</p> <p>→慣れればできるようになる。</p> <p>→セキュリティ上はデジタルより紙ベースのほうが安全。(特に盗難や漏洩に対して)</p> <ul style="list-style-type: none">・証明書などのやりとりは便利だが、相談や問い合わせはデジタル化できない部分もあり、メリット・デメリットを意識して推進すべき。・人と人とのつながりの希薄化。・セキュリティ対策の向上。 <p>《今後、市に期待すること》</p> <p>○デジタル化の推進で期待すること</p> <ul style="list-style-type: none">・学校を介さずに直接届け出ができる仕組みづくり。(学童保育など)・処分場の持ち込み受付のデジタル化。・市立図書館における本の貸し出し延長のデジタル化。・市立図書館の自習スペースの利用状況のスマホ確認。・災害時の被害状況をSNSからリストアップする。
----	---

- ・危険個所の通報のデジタル化。
 - ・市 LINE からコミセンのホームページにつながるようにしてほしい。
 - ・市 LINE の広報紙は、PDF ではなく、画像や文字で直接表示してほしい。目次とリンクがあると良い。
 - ・デジタル化で市の経費削減につながるのか。
 - ・教育面での活用はどうか。学校へ行かなくてもデジタルで学ぶことができるのは、不登校生徒にとってはよい方法ではないか。
- 市内3か所の不登校支援施設において、デジタル空間でコミュニケーションがとれる仕組みを提供している。しかし、学校には人と直接かかわることで成長する場を提供するという側面もある。すべての子どもが自分に合った環境で成長できる環境を保障し、それを社会が認めることが重要。デジタル教科書が話題になることがあるが、考える力が深まらないのではないか。
- ・デザイン性に優れた親しみやすい市ホームページの運用。
- デジタル化の推進以外で期待すること
- ・市広報などは紙のほうが視認性が高い。こういったものは紙媒体を残してほしい。
 - ・若い人はデジタル化の恩恵を受けるが、取り残される人もいる。公共施設の予約もスマホが使える人に先にとられてしまう。市にはもっと丁寧な説明や対応を求めたい。

- 対応方針
- ・行政視察をした大分県別府市の先進地事例を含めて、課題等を整理していく。
 - ・行政視察や意見交換会等で得た内容をもとに、年度末に報告書を作成し、対応方針を決定する。